

会社概要

(2022年9月30日現在)

社名 トーカロ株式会社 TOCALO Co.,Ltd.
 設立 1951年7月
 所在地(本社) 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
 資本金 26億5,882万3千円
 従業員数 単独 762名 連結 1,213名

グループ会社

日	本	日本コーティングセンター株式会社 神奈川県座間市
中	国	東華隆(広州)表面改質技術有限公司 広東省広州市
中	国	東質隆(昆山)電子有限公司 江蘇省昆山市
台	湾	漢泰国際電子股份有限公司 台南市
ア	メ	リカ TOCALO USA, Inc. カリフォルニア州
イ	ン	ドネシア PT. TOCALO Surface Technology Indonesia 西ジャワ州カラワン県
タ	イ	NEIS & TOCALO (Thailand) Co., Ltd. チョンブリ県

役員

代表取締役 社長執行役員 三船 法行
 取締役 専務執行役員 久野 博史
 取締役 専務執行役員 黒木 信之
 取締役 常務執行役員 後藤 浩志
 取締役(社外) 鎌倉 利光
 取締役(社外) 瀧原 圭子
 取締役(社外) 佐藤 陽子
 取締役(社外) 富田 和之
 監査役(常勤) 三木 猛
 監査役(常勤) 小山 俊彦
 監査役(社外) 吉田 敏彦
 監査役(社外) 中田 琢也
 常務執行役員 進 英俊
 常務執行役員 千葉 祐二
 常務執行役員 古積 隆幸
 常務執行役員 小林 和也
 執行役員 浜田 博介
 執行役員 水津 竜夫
 執行役員 相坂 弘行
 執行役員 中井 勝紀
 執行役員 中平 康樹
 執行役員 高島 剛

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会については3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
 公告方法 電子公告
 公告掲載URL <https://www.tocalo.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 160,000,000株
 発行済株式の総数 63,200,000株
 (内、自己株式2,352,845株)
 単元株式数 100株
 株主数 12,016名

大株主

持株数(千株)

日本マスタートラスト信託銀行株式会社	10,188
株式会社日本カストディ銀行	7,910
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	2,958
トーカロ従業員持株会	2,893
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,995
GOVERNMENT OF NORWAY	1,532
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	1,232
西條 久美子	1,036
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	891
KIA FUND F149	858

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

TOCALO REPORT 72

中間報告書 2022年4月1日から2022年9月30日まで

豊かな暮らしの中に、
トーカロの技術が溢れています。

TOCALO トーカロ株式会社

証券コード:3433(東証プライム市場)

TOCALO トーカロ株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
TEL 078-303-3433



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当社第72期中間期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

▶ 中間期の連結業績について



代表取締役
社長執行役員 三船 法行

当社グループを取り巻く事業環境は、急激な円安、収束の見えないロシア・ウクライナ情勢、それに伴うエネルギーコストや原材料価格の高騰に加えて、サプライチェーンの停滞や半導体をはじめとする部材の需給逼迫など、難しい情勢が続きました。

そのような情勢にあっても、半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)分野が旺盛な需要を背景として好調に受注を牽引した結果、総じて期初計画に対して業績は順調に推移しました。

売上高につきましては、DXやデジタル化の進展による好調な受注に支えられた半導体・FPD分野、当社事業を支える柱の1つである鉄鋼分野およびTD・ZAC・PTAなどのその他表面処理加工部門のほか、海外子会社4社ともに前年同期比で増収を確保しました。また、その他分野においても輸送、フィルム・繊維、医療器分野などで増収となっております。

損益面では、労務費や電力費等の上昇の影響を受けましたが、一層のコスト削減、生産効率向上に努めるとともに、受注価格の見直しも鋭意進めました。

その結果、当社グループの連結業績は、売上高で前年同期比28億98百万円(13.7%)増の239億96百万円、経常利益は同8億10百万円(15.5%)増の60億33百万円となりました。

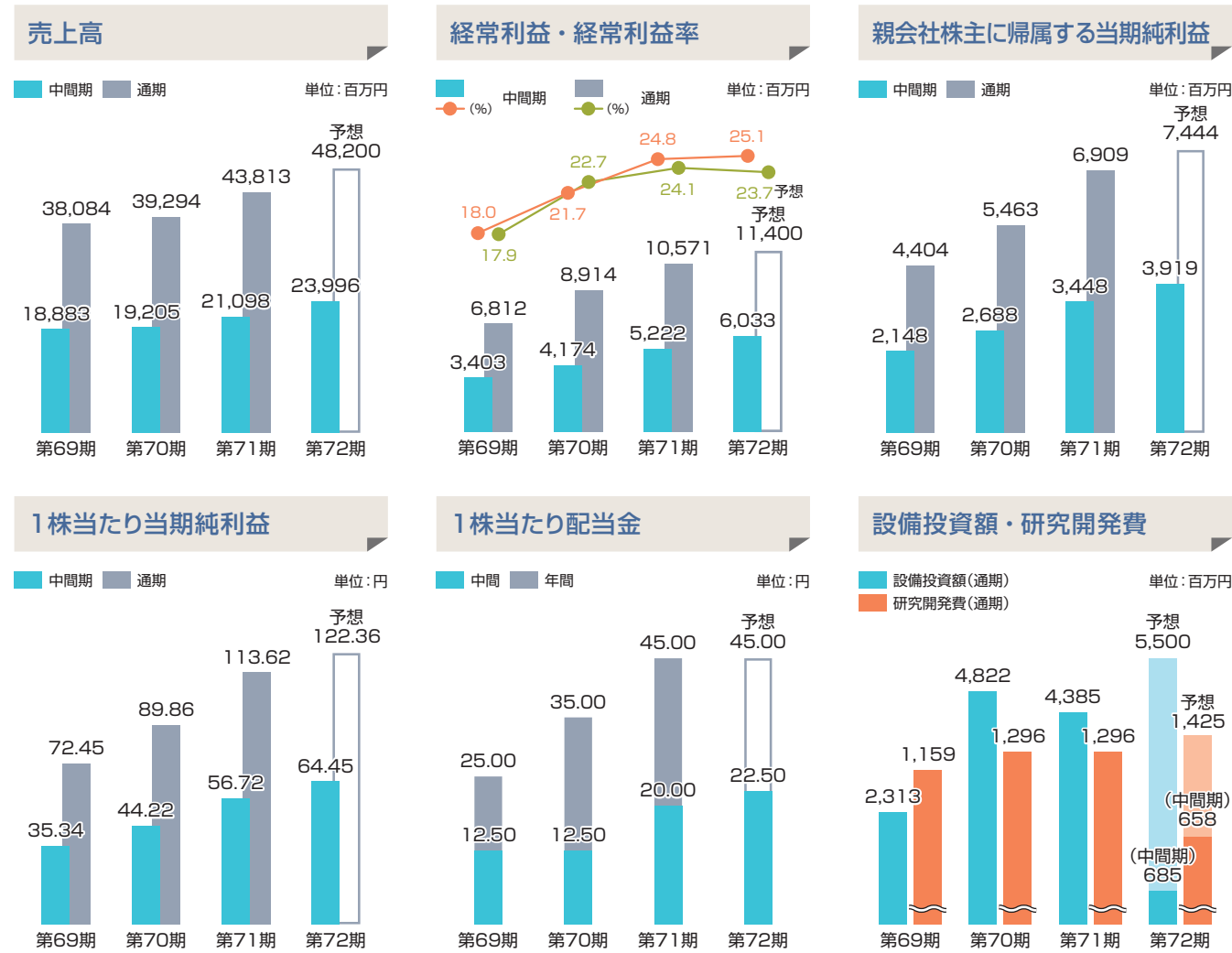
▶ 今後の業績見通し、舵取りについて

新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、工場の操業を継続することに細心の注意を払いつつ、新技術の開発と新市場の開拓を進めて業績の向上を図ります。

2021年11月に公表した中期経営計画では、「人と自然の豊かな未来に貢献する」をビジョンに掲げており、成長戦略を半導体・FPDをはじめ環境・エネルギー、新素材、輸送機器、医療などの分野を中心に取り組みを進めております。各分野で開発の方向性とターゲットを定めて推進しており、徐々に成果も出始めております。

当社グループは、今後もお客様に提供する表面処理ソリューションを通じて、地球環境負荷低減に貢献するとともに、持続的成長と企業価値の向上を図ってまいります。

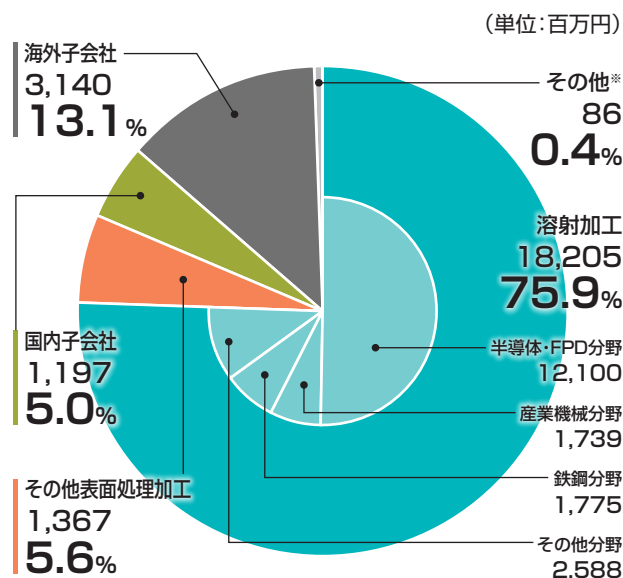
厳しい事業環境の中、通期業績予想の達成に向けて順調に推移しています



(注) 1. 通期業績予想は、2022年7月29日に上方修正いたしました。
2. 第71期より「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更しており、過年度もこの変更を反映した組替後の数値を記載しています。

第72期 中間期

売上高 **23,996**百万円

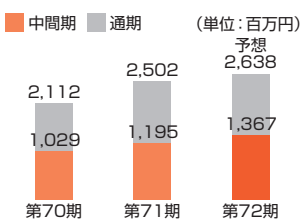


※その他は受取ロイヤリティー等

その他表面処理加工 (TD (拡散浸透法)、ZAC (化学緻密化法)、PTA (特殊粉末肉盛法)) 前年同期比 **14.4%** ↑ up

主なサービス内容 / ▶ TD処理加工 (拡散浸透法) による表面処理 ▶ ZACコーティング加工 (化学緻密化法) による表面処理 ▶ PTA処理加工 (特殊粉末肉盛法) による表面処理

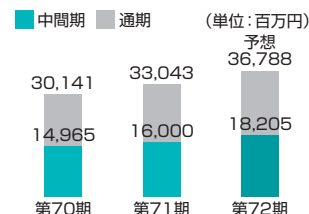
世界経済の緩やかな回復が継続していることを背景とした、農業機械向け加工の増加や、新皮膜の適用が半導体分野および鉄鋼分野を中心に広がったことから増収となりました。



溶射加工

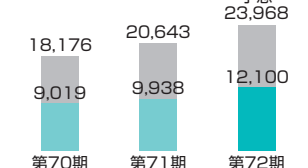
主なサービス内容 / ▶ 溶射加工による表面処理

産業機械およびその他分野は減収となった一方で、脱炭素化 (カーボンニュートラル) やEV関連の高級鋼板等のライン増強による鉄鋼分野の持ち直しや、半導体・FPD分野では世界的な半導体不足を背景とした半導体メーカー各社の活発な設備投資により、当社の溶射加工は前年同期比で大きく伸長しました。



半導体・FPD分野 前年同期比 **21.8%** ↑ up

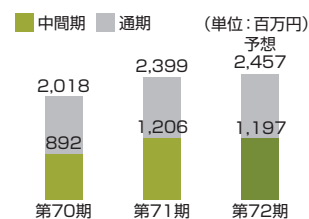
デジタル化の加速により半導体メーカーの設備投資が活発化したことを背景として、半導体製造装置向けの溶射加工の需要が高まり、大幅に増収となりました。



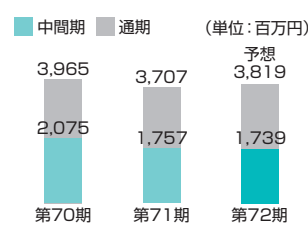
国内子会社

会社名 / ▶ 日本コーティングセンター株式会社

自動車メーカーの減産が長期化したことにより、自動車部品の生産に用いられる切削工具へのPVD加工が減少し、前年同期並みの売上となりました。

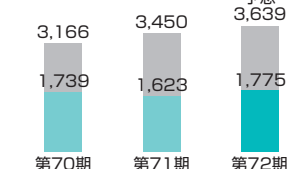


産業機械分野 前年同期比 **13.8%** ↑ up



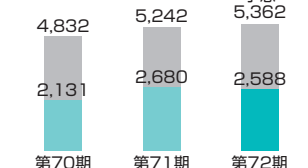
中国向けの在庫調整解消により、ペアリングの受注は回復したものの、火力発電や大型バイオマス発電設備などの大規模な改修工事は変動的であることから、前年同期並みの売上となりました。

鉄鋼分野 前年同期比 **9.4%** ↑ up



公共工事に伴う建設資材の生産増強や、脱炭素化 (カーボンニュートラル) やEV関連の高級鋼板などの付加価値の高い製品の生産量増加によるライン増強の受注を取り込み、増収となりました。

その他分野 前年同期比 **3.4%** ↓ down

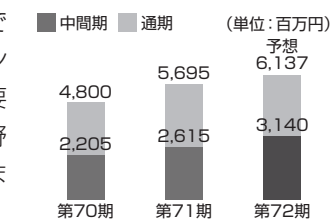


(主にガラス・窯業、石油化学、紙・パルプ、フィルム・繊維分野)
中国のロックダウンによるガラス・窯業分野等での停滞や、石油化学分野および紙・パルプ分野での大規模改修工事が前年に一旦落ち着いた影響から、減収となりました。

海外子会社

会社名 / ▶ 東華隆 (広州) 表面改質技術有限公司 ▶ 東賢隆 (昆山) 電子有限公司 ▶ 漢泰國際電子股份有限公司 ▶ TOCALO USA, Inc.

世界経済の回復が続く中で、のアジア圏の資源開発、インフラ設備等に伴う鉄鋼需要の増加ならびに半導体分野が好調に推移し増収となりました。

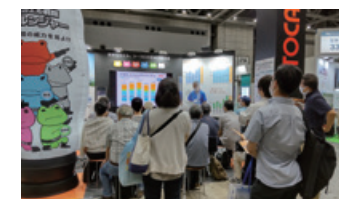


トピックス

日経IR・個人投資家フェアに出展しました。



2022年8月26日 (金)、27日 (土) に開催されました、日本経済新聞社主催の「第17回 日経IR・個人投資家フェア2022」にリアルとオンラインの両方で出展いたしました。会期中は当社ブースでの展示やミニ会社説明会・動画を通じて、多くの投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただくことができました。



今後も個人投資家説明会に継続して出展いたしますので、ぜひお越しください。

溶射技術を通じてインドネシアの経済発展と環境保全に貢献する

PT.TOCALO Surface Technology Indonesiaはインドネシア国内で自動車向けの鋼板を生産する大手日系鉄鋼メーカーへ各種溶射技術を提供することを目的に2017年5月、トーカロ株式会社の出資により設立されました。

工場はジャカルタより車で東へ1時間程の距離に位置する西ジャワ州カラワン県にある工業団地KIIICに立地しています。

設立より5年が経ち、鉄鋼メーカー向け溶射加工の技術レベルは日本と同じ水準に達しました。今後はこの技術を応用し、フィルムや不織布、粘着テープの生産設備向け溶射加工を展開していきます。

インドネシア経済は2021年の経済成長率が3.69%と2020年のマイナス2.07%から回復し、2022年の経済成長率は5.10%になると予想されています。

それに伴い、自動車生産は年間150万台に迫ると予測されており、裾野が広い自動車産業の拡大する需要を取り込むため、顧客の技術的なニーズに応じられる体制づくりを進めています。



また、経済成長により今後、積極的な設備投資が予想される電力やエネルギー業界へも溶射技術のシーズを展開し、インドネシアの経済発展や環境負荷低減に貢献していきます。



PT. TOCALO Surface Technology Indonesia

所在地：インドネシア共和国西ジャワ州カラワン県
 資本金：US\$4,980,000
 出資比率：トーカロ株式会社99%
 日本コーティングセンター株式会社1%
 設立：2017年5月31日
 従業員数：23名
 事業内容：溶射加工および機械加工

代表者(MANAGING DIRECTOR)挨拶



MANAGING DIRECTOR 高馬 裕淳

インドネシアはコロナ禍が落ち着き、ほとんどの社会行動制限が解除されたため、当社も正常な業務ができる環境に戻りました。

足元の業績も順調に推移しております。

インドネシアは、13,466の島々がある国で地域により経済発展の度合いが異なりますが、天然資源にも恵まれ2036年まで人口ボーナスを享受できる潜在力の高い国です。

中国をはじめとして、韓国やシンガポール、米国などの先進国の投資も年々増加しており、ビジネスチャンスも増えると期待しております。

今後も、全てのお客様から信頼いただき、飛躍することを目指してまいります。

What's トーカロ

トーカロの溶射はすごいぞ! 溶射の技術でスマホも進化!

スマホを買い替えたよ。最近のスマホ画面はすごく見やすいね。

おー

スマホの画面にはいろいろな樹脂製シート(フィルム)が何層も重ねられていて、その製造には僕らの会社の技術が一役買っているんだ。

光学フィルム

偏光やバックライトなど様々な光学特性を担う構成部材の製造に溶射が用いられています。

そうなの？

例えば、2軸延伸フィルムの製造はフィルムを強くするために熱した樹脂を縦と横に大きく伸ばして作るんだ。

ピカピカな皮膜

縦延伸や巻き取りに使うロールは目には見えないとても小さな凸凹があってもフィルムに傷を付けちゃうんだ。だから、長い間使ってもピカピカのままだよ。

溶射ロール

縦延伸

対象品 延伸クリップ

横延伸

ザラザラな皮膜

普通はザラザラにすると滑りにくく、剥がれにくくなるよね。ところが溶射で特殊なザラザラを作ってやるとフィルムが滑りにくかつ剥がれ易くなって製品のフィルムに傷を付けない機能をもたせることができるんだよ。

溶射イメージ

溶射装置

加工対象物

様々な機能を持つ材料

対象品 ガイドロール

巻き取り

溶射皮膜って、摩耗を防ぐ以外にも色々な使い方があるのね。

そうなんだ。溶射材料や加工方法のノウハウで、光学フィルムの高品質化に貢献しているよ。

目立たないところで、溶射がスマホの進化を支えているのね!